

新入生の皆さんへ ～ ようこそ資料の宝庫・図書館へ ～

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。受験勉強も終わり、ほっとしたのも束の間、入学式から始まって様々なスケジュールが目白押しで、忙しい毎日を過ごしておられることと思います。校舎、先生、授業、仲間など、全てが新しくなり、特に実家から遠く離れて、初めて一人暮らしをする人にとっては、住む家も変わりますので尚更だと思えます。期待と不安が入り混じった、複雑な心境というのが実感ではないでしょうか。

さて、忙しさが一段落したら、図書館に足を運んでみてください。大学の図書館の役割は、教育・研究の支援をすることにあります。このように書くと何やら難しそうですが、決してそうではありません。専門書や各言語の新聞、雑誌もありますが、日本語の新聞や娯楽雑誌などもありますので、気軽に立ち寄ってください。これからの学生生活で利用する機会が多いと思えますので、どのような様子なのかを早い内に見に来ていただきたいと思えます。

本学の図書館は7号館にある本館と、9号館（国際交流会館）にあるアジア関係図書館（分館）の2つがあります。それぞれに閲覧室がありますが、閲覧室だけを見回して、思ったほど本が無いと思われる方がおられます。しかし実際には約50万冊もの図書と、継続中の雑誌が約2,500タイトルあるのです。これを全て閲覧室に出せば良いのですが、スペースに限りがあるため、ごく一部しか置いていません。残りの大半は書庫にあります。ですから図書館に来られたら、ぜひ書庫にも入ってみてください。簡単な手続きで入れますので安心してください。本の多さに圧倒されること請け合いです。ただし書庫は広いので、初めて入る場合には職員に案内してもらった方が良いでしょう。なお、中国関係の和書（日本語で書かれた図書）と中国語の図書は、基本的にアジア関係図書館に置かれていますので注意してください。

図書館ではガイダンスやライブラリー・ツアーを実施しています。これらを利用すれば図書館の概要を効率良く知ることが出来ます。しかし授業時間の都合などで参加出来ないという場合もあると思います。そのような時は遠慮なく、カウンターに申し出てください。また、図書館が提供する各種のサービスは"Library Guide"という冊子にも詳しく書かれていますので、参考にしてください。更に図書館のホームページにも様々な情報が掲載されていますので、是非アクセスしてみてください。アクセス方法は、本学のトップページから「附属図書館・研究機関」「附属図書館」となっています。

ところで現代社会はインターネットの時代です。図書館の蔵書は学外からも検索出来るのは勿論、館内にはオンライン・データベース専用端末や、様々な情報をインターネットで自由に検索出来る端末を備えています。インターネット上には無数のサイトが存在していて、確かに便利さを実感することが多くあります。しかしネット上の情報を全て信用するのは危険なことです。必要とする情報の内容にもよりますが、公共機関等の信頼出来るサイトが出している情報以外は、不正確であったりするので充分注意が必要です。学問に関する情報は、やはり図書館の資料（出版された図書や雑誌など）を調べるのが確実でしょう。ですから今後、学習を進めてゆく上で、図書館の使い方や資料の探し方を知っておくことは大変重要になります。資料を探す手段としてパソコンを利用しますが、このことについては前号（179号）で紹介していますので、参考してください。

図書館が提供する様々なサービスや資料をフルに活用して、有意義な学生生活を過ごしていただきたいと願っています。ご利用を心よりお待ちしております。

ふじい たつや（司書・係長・アジア関係図書館）